

平成27年度とよかわデジモニ  
第1回アンケート結果

「多文化共生に関するアンケート」

作成 市民協働国際課

豊川市企画部秘書課広報広聴係

□アンケート実施期間：平成27年7月10日から7月24日まで

□回収率：93%（93／100 人）

□年代別構成比

20代	男	1	5
	女	4	
30代	男	11	46
	女	35	
40代	男	6	19
	女	13	
50代	男	3	10
	女	7	
60代	男	6	11
	女	5	
70代	男	1	2
	女	1	
合計	男	28	93
	女	65	

## 目的

市では、平成26年度に「豊川市多文化共生推進プラン（2015-2019）」を策定し、平成27年度から多文化共生施策を実施していきます。

今回、市政モニターの皆さんに「多文化共生に関するアンケート」を行い、多文化共生施策の実施に向けて参考とするものです。

## 総論

「多文化共生社会という言葉聞いたことがありますか」（問1）という質問に、「聞いたことがあります、意味を理解している」と「聞いたことはあるが、意味はあまり理解していない」を合わせた【聞いたことはある】と答えた方が46.2%、「聞いたことがない」と答えた方が53.8%と半数以上いました。

一方で、外国人市民が多く住んでいることに対しては、「文化・習慣の違いがあり、不安を感じる」といった回答がある半面、「外国の言葉、文化・習慣を知る機会が増えると感じる」「地域の経済を支える労働力として必要と感じる」など、肯定的な意味を表す回答も多くありました。

さらに、「多文化共生事業について、どのような活動であれば協力・参加したいと思いますか」（問4）という質問には、「日本人市民と外国人市民が交流する機会」、「自治会や子ども会等の地域社会への参加のための支援や協力」、「児童生徒を対象とした語学教室等への指導や協力」といった多文化共生事業への協力を前向きな回答が合計で91.4%でした。

そして、「今後、多文化共生社会づくりのために、どのような取り組みに力を入れるべきだと思いますか」（問5）という質問には、多い順に「日本の生活ルールや習慣、文化の違いについて周知する」、「外国人市民にもわかるように工夫した、簡単な日本語（「やさしい日本語」）での情報提供の充実」、「多言語での相談体制や情報提供の充実」、「外国人市民が地域社会に積極的に参加できる機会の提供」という回答でした。

これらの意見を参考にし、より効果的に多文化共生施策を実施していきたいと思えます。

市民協働国際課

※比率はすべて百分率（%）で表し、小数点第2位を四捨五入して算出しています

## 「多文化共生に関するアンケート」結果 （回答単位：人）

- 【1】 あなたは、多文化共生社会という言葉を知ったことがありますか。  
(1つのみ選択)

聞いたことがあります、意味も理解している	12
聞いたことはあるが、意味はあまり理解していない	31
聞いたことがない	50
合計	93

- 【2】 豊川市には多くの外国人市民が住んでいます。あなたはそのことについてどう思いますか。(複数選択可)

外国の言葉、文化・習慣を知る機会が増えると感じる	38
地域で外国人と交流ができるので、望ましいと感じる	28
同じ地域で共に生きるパートナーと感じる	15
地域の経済を支える労働力として必要と感じる	33
治安が悪化する可能性があると感じる	27
文化・習慣の違いがあり、不安を感じる	39
特に何も感じない	5
<p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・多くの工場を持つ豊川市では、少子高齢化対策の労働力として、外国人労働者の積極的な採用は必要不可欠と思います。そのため、社会を構成するメンバーとして大切に思う反面、宗教、文化や生活水準の違いは否定できず、そこから生じる治安の悪化や子育てへの悪影響が心配でもあります</li> <li>・パートナーではあるがお互いに不慣れであり不安な面もある</li> <li>・交流機会が少なくもったいない</li> <li>・外国人との接点がない。買い物等でお見かけしますが</li> </ul>	6

地域、仕事ではかかわりがないのでどうこう言えません ・ゴミだしやマナーが守られてない ・子供同士公園で仲良く遊べない時がある	
--	--

【3】 地域を在住外国人とともに暮らしやすい社会にするため、あなたは外国人市民にどのようなことを期待しますか。(複数選択可)

日本の法律、生活ルール、習慣を守ってほしい	82
日本語や日本の文化を学んでほしい	39
地域住民との交流や地域の活動に参加してほしい	39
外国の言葉や文化を教えてほしい	28
生活の中で感じたことを発言、提案してほしい	31
わからない	0
その他 ・コミュニケーションの活性化を図り、お互いに理解を深め、外国人という壁の無い人間関係の醸成が、暮らしやすい社会と安全に繋がるのではないかと思います ・お互いに理解できるまで、どんなことでも話合っ欲しい ・外国人が気軽に参加出来るような催しの機会を設ける	3

【4】あなたは多文化共生事業について、どのような活動であれば協力し、参加したいと思いますか。（1つのみ選択）

日本人市民と外国人市民が交流する機会	39
外国人市民の児童生徒を対象としたの語学教室等への指導や協力	18
外国人市民が自治会や子ども会等、地域社会へ参加するための支援や協力	28
協力も参加もしたくない	6
その他 ・バーベキューやキャンプなど、一緒に時間を過ごせる機会があれば興味深いと思います ・積極的参加は考えていないが、地域の活動に出席された場合などは協力フォローなどを考えています	2
合計	93

【5】 今後、日本人市民と外国人市民がともに暮らしやすい社会にしていくためには、どのような取り組みに力を入れるべきだと思いますか。

(複数選択可)

外国人市民に対しする日本の生活ルールや文化・習慣の違いについての周知	76
外国人市民に対する多言語での相談体制や情報提供の充実	45
外国人市民への日本語の学習機会の提供や外国人市民の児童生徒への教育の充実	40
異文化の理解や外国人市民との交流の場の提供	32
外国人市民が地域社会に積極的に参加できる機会の提供	42
市民団体やボランティアによる外国人市民への支援	20
外国人市民にもわかるように工夫した、簡単な日本語（「やさしい日本語」）での情報提供の充実	48
災害時等の通訳ボランティアの充実	20
その他 ・前項8項目出来れば素晴らしい豊川市になる。・相互理解が大切だと思う ・外国人でもわかるような易しい日本語講座等の開設	2

【6】 あなたは、日常生活で外国人と接する機会がありますか。

ある	38
ない	55
合計	93

【7】 【6】で「ある」と答えた方は、外国人と接する場所を教えてください。（複数選択可）

職場	17
学校、保育園、幼稚園	10
自宅の近く	11
よく利用するお店	2
習い事、趣味の活動	6
「学校、保育園、幼稚園」以外の公共施設	3
その他 ・以前職場で知り合って友人になった外国人 ・通勤電車 ・ウォーキング ・子どもの英会話の送迎時や参観時 ・友達 ・日本で生活後帰国した外国人とのメール交換と相互行き来の交流 ・友人	7



【8】 あなたは、今までに外国人との間でトラブルになったことはありますか。

(1つのみ選択)

よくある	0
たまにある	2
ほとんどない	16
ない	75
合計	93

【9】 【8】で「よくある」または「たまにある」と答えた方に伺います。トラブルの内容は何でしたか。(複数選択可)

生活に関すること	1
仕事に関すること	1
合計	2

【10】 豊川市は、外国人市民にとって住みやすいまちだと思いますか。(1つのみ選択)

そう思う	7
どちらかといえばそう思う	42
どちらかといえばそう思わない	8
そう思わない	5
わからない	31
合計	93

